

うさちゃん広場 4・5月合併号

社会福祉法人 鏡福祉会
あおば保育園
地域子育て支援センター通信
令和2年5月発行

暖かい春の日差しが優しく降り注ぐ季節になりました。

一時保育の子どもたちは、電車を見に散歩に出かけたり、チューリップなど春の花が咲いている花壇で、虫探しを楽しんでいます。

新しい年度が始まりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、うさちゃん広場も中止になっています。電話での育児相談は 9:00~15:00(月~金)に行っています。ご理解の程よろしくお願いたします。

今年度も楽しい活動を計画していきますので、親子で参加して、たくさんの人と会いましょうね。

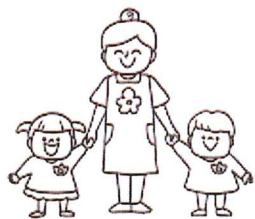


だんごむし
いるかな～

でんしゃきたー！
運転手さんが手を
振ってくれたよ



広い園庭で、三輪車に乗ったり、アンパンマンの遊具などで遊んでいるよ！



5月5日はこどもの日
今年はお家で、家族みんなで
お祝いしましょう！



どうしてこいのぼりを揚げるの？

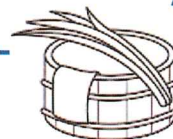
A: 滝を登りきった鯉が、龍に変身したという中国の伝説があります。その鯉の、子どもが元気に強く育ってほしいという願いを込めてこいのぼりを飾り、成長をお祝します。

なぜしょうぶ湯に入るの？

A: 古代中国では、厄除けとしてしょうぶを腰に下げたり、しょうぶを浸した酒を飲んだりしました。この習慣が日本に伝わり、しょうぶ湯に入って厄除けと健康を願うようになりました。

柏もちやちまきを食べるのはなぜ？

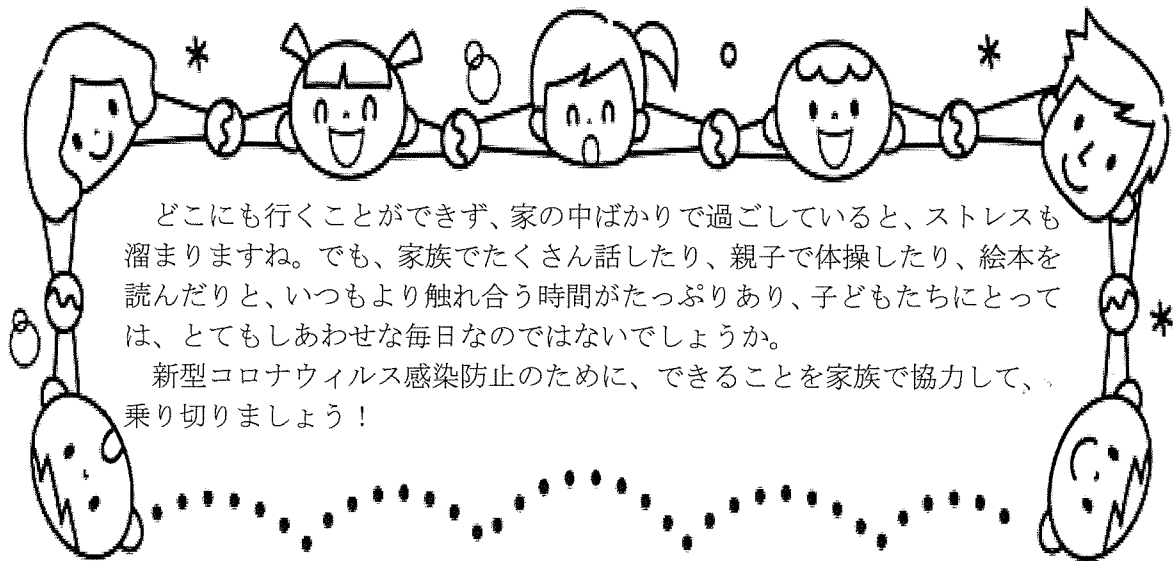
A: 柏という木は、古い葉があるうちに新しい子どもの葉が出てきます。そこから、「子孫繁栄」の願いを込めて柏もちを食べるようになりました。ちまきは昔、薬草で巻かれていたことから、厄除けの願いを込めて食べるようになりました。



かぶとをかぶるのはなぜ？

A: 昔、武士が自分の命を守るために身に付けていました。そこから、子どもを悪いことから守ってほしいという願いを込めて、身に着けたり、飾ったりします。





どこにも行くことができず、家の中ばかりで過ごしていると、ストレスも溜まりますね。でも、家族でたくさん話したり、親子で体操したり、絵本を読んだり、いつもより触れ合う時間がたっぷりあり、子どもたちにとっては、とてもしあわせな毎日なのではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染防止のために、できることを家族で協力して、乗り切りましょう！

～手洗いで感染予防をしましょう！～

てのあらいかた



<p>① てをぬらして せっけんを あわだてる</p>	<p>② てのひらを あろう</p>	<p>③ てのこうを あろう</p>	<p>④ ゆびのあいだを あろう</p>
<p>⑤ ゆびさきを あろう</p>	<p>⑥ おやゆびの つけねをあろう</p>	<p>⑦ てくびを あろう</p>	<p>⑧ みずでながして ふく</p>

笑いを引き出すおはしゃぎ遊び

笑いには、体の免疫力を活性化させたり、緊張をほぐしてリラックスしたり、ストレス解消する役目があるそうです。

子どもは、笑いながら必ずといっていいほど、そばにいる大人の顔を見ていますね。笑い合うことで、信頼関係を広げ、自己肯定感を育みます。子どもとのやりとりを楽しめる生活を大切にしたいですね。

親子でふれあい遊びをして、一緒にはしゃいで笑い合い、心を通わせて親もリラックスしましょう。

にんどころ



「ここは とうちゃん にんどころ」
人さし指で右頬を4回軽くつつく。
「ここは かあちゃん にんどころ」
左頬を4回つつく。



「ここは じいちゃん にんどころ」
おでこを軽く4回つつく。
「ここは ばあちゃん にんどころ」
あごを軽く4回つつく。
「ここは ねえちゃん にんどころ」
鼻を軽く4回つつく。

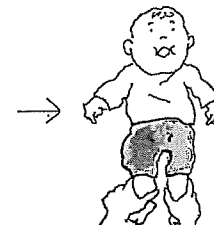


「だいどお だいどお」
顔のまわりを2回なでる。
「こちょ こちょ」
あごの下をくすぐる。

いちり にり



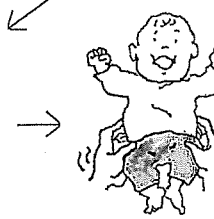
「いちり」
で両足の親指をつかむ。



「にり」
で足首をつかむ。



「ざんり」
で足を伸ばしてひざをつかむ。



「しりしりー」
でお尻をくすぐる。お尻を持ち上げてゆずっても楽しい。

子育てで悩んでいる時、困っている時、どうしたらいいかわからない時、どんな事でもお電話下さい。話すだけでも、気持ちが楽になることもありますね。

育児相談専用番号

050-3541-3913

*月曜日～金曜日 (9:00～15:00)

★「こいのぼり」を歌いながら洗ったら、ちょうど30秒くらいですよ～♪